

再生材の自動車部品への適用に向けた品質評価及び自動車部品開発



研究開発責任者：柘植 元基

研究の背景・目的

欧州 ELV 規則案の対応が日本の基幹産業である自動車産業にとって喫緊課題である。
その解決策として、本 SIP 参画機関が自動車部品としての基準を満たす再生材の開発を実施するが、量産化には各部品に求められる「評価内容の把握・基準に準じた測定・課題検証」が必要不可欠。当社はシートやドアトリムなどの自動車内装部品の開発及び生産を行っており、「再生 PP 材を用いたドアトリムの開発及び評価・課題検証」を実施する。また、その結果をコンパウンダーにフィードバックすることで品質改善と改良を図る。



シートやドアトリムなどの自動車内装部



ドアトリム

研究開発内容

本 SIP 参画機関のコンパウンダーが開発する自動車部品への使用を目指した再生 PP 材を用い、自動車内装品「ドアトリム」の射出成形による試作、量産品に求められる製品評価、再生 PP 材の課題抽出及びコンパウンダーへのフィードバックを行い改良を図る。また、同様に新たな再生 PP 材によるテストピース形態での材料評価を実施し、ドアトリム向け材料としての課題を抽出、コンパウンダーへのフィードバックにより物性改良に繋げる。

2024 年度計画

STEP1__再生 PP 材：材料評価 → 製品評価 → 課題抽出 → フィードバック
STEP2__新たな再生 PP 材：材料評価 → 課題抽出 → フィードバック

2025 年度計画

フィードバックを反映した改良材による 2nd ラウンド

〈活動プロセス〉



現在までの成果

【現在】

再生 PP 材 → 材料評価及びドアトリム製品評価中
新たな再生 PP 材 → 材料評価中

【今後】

今期末：材料及び製品課題の抽出、コンパウンダー様へフィードバック

〈全体日程〉

実施項目	2024年度							2025年度						
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
材料仕様決め														
材料手配														
材料評価														
製品試作														
製品評価														
まとめ														

